

# 2021年 商業科の取り組み 2

## 「マーケティング」での取り組み

マーケティングの授業では、消費者ニーズをとらえ、顧客満足度を上げるための施策を学習します。教科書を使用し、マーケティングに関する基礎知識を固めるとともに、外部のコンテストなどに応募することで社会とのつながりを実感できる機会としています。アイデアを出すだけでも難しいですが、それを言葉にし、わかりやすく人に伝えることの難しさを感じながら、さまざまな課題に取り組んでいます。

### 第13回販促コンペ

様々な企業から出されたお題17から各自が興味のあるものに取り組みました。例えば、井村屋から出されたお題は「井村屋こだわりの冷凍ゴールド中華まんシリーズを「買いたい!」「食べたい!」と思ってもらえるアイデア」、ロート製薬からは「男性がスキンケアをしたくなるアイデア」など、身近な内容ですが、それを実現可能な形に企画としてまとめることはとても大変です。途中で自分のアイデアをグループ内で話したりしながら内容を固め、全員企画を提出することができました。企画書はPowerPointで作成しましたが、アンケート結果を入れたり、図を見やすくするなど、誰がみてもわかる企画書を作る工夫が見られました。



### 地元再発見コンテスト

#### 1名1次審査突破！ 3名選外佳作

千葉商科大学が主催するコンテストに応募しました。自分が住む町の魅力を新たな視点で掘り起こすことを目的としたコンテストで、新カリキュラムで設定される「観光ビジネス」にも通じる内容です。1名が1次審査を通過し、12月の最終審査に臨みます。3名が選外佳作に選ばれました。

### 100年文具への道コンテスト

#### 特別賞受賞！

既存の文房具を元に「あったらいいな」を高校生ならではの視点で考え形にしました。残念ながら個人作品の入賞には至りませんでしたが、2019年に続き、学校として特別賞をいただきました。賞品として鉄粉入り消しクズが簡単に集められる「マ磁ケシ」をいただきました。



### セブン-イレブンの特別授業

セブン-イレブン・ジャパンから萩原さん、セブン&アイホールディングスから千野さんをお迎えし、プライベートブランド商品の開発についての特別授業をしていただきました。セブンプレミアムの商品開発の流れや、過去に発売した商品の開発秘話など、実際に商品開発の現場で取り組まれている方の話には自然と引き込まれました。現在使用している教科書にもセブンプレミアムの事例が記載されていますが、「生」の話を伺うことでより理解が深まり、プライベートブランド商品や商品開発への興味がさらに膨らみました。ありがとうございました。

